

矢の目ダム周辺町有財産利活用事業（ダム湖エリア）について

◆会社概要

社名 株式会社 S p e s（スペース）／ 代表 君島つぎみ

Spes アクティビティ那須として那須を中心としたアクティビティの企画運営を行う（ハンターマウンテン・マウントジーンズスノーボードスクール、塩原溪谷カヌーツアー、ファミリーキャニオニング、日本ドッグサップ協会事務局）

◆目的

那須の素晴らしい自然環境や景観のなかで、那須の観光事業のひとつとして、海のない栃木県で、SUP（スタンドアップパドルボート）を利用した湖等の有効活用を行いたいと考えます。矢の目ダムという貴重な環境資源を活用し、那須の自然・景観のすばらしさを1人でも多くの方にアピールし、那須に足を運んでいただける機会が拡大するよう努め、那須の観光事業の発展に貢献すべく取り組んでまいります。

波のない湖で行う SUP は、小さな子どもから大人まで、ファミリーで安全に楽しめるアクティビティです。犬も一緒に乗ることができるので、愛犬と観光を楽しむ方にも満足いただけます。あらゆる世代の方に、SUP などを通して那須のすばらしい自然を体験できる機会を提供します。



◆矢の目ダム湖利用の基本方針

① 安全利用

湖面利用により、考え得る事故防止に努める。

② 環境保全

湖面利用により、貯水池水質、景観の阻害及び利用にあたって排出した廃棄物等の発生など、湖及び周辺環境悪化をまねかないように努める。

③ 機能の保全

湖の湖面利用により、ダムの運用に支障をきたすこと、管理設備や湖岸に損傷を与えること、または、構造物の設置により貯水池容量の減少や疎通能力の阻害など、本来ダムが持つべき機能を低下させることがないように努める。

④ 地域貢献

矢の目ダム湖面周辺地域及び河川流域との交流を促進し、地域貢献活動を通して公益の増進に寄与する活動を行う。

◆実績

2017年～2023年で延べ、24643名、4074頭の参加者

- SUP ツアーは今年で7年目となり、2023年には5500人以上が参加。県内外問わずリピーター多数
- 学校旅行、企業研修、婚活など最大80名の団体受入れ
- 大会を企画運営、毎年200名以上が参加、国内でも有数の規模
- 県内外から視察受入れ
- TV取材、雑誌掲載複数（ロンドンハーツ、田中律子旅するSUP、他撮影協力多数）
- 日本ドッグサップ協会設立、講習会開催、インストラクター養成
- SIJ（日本サップ指導者協会）公認スクール取得、インストラクター養成
- 地域・社会貢献活動
 - 県民デーの開催 売り上げの一部を町へ寄付
 - 地域の学校や保育園、スポーツチームなどの団体受入れ
 - 障がい者福祉施設・特別支援学校の受入れ
 - 那須町教職員の研修ツアー受入れ、那須町イベント協力
 - 養護園での出張イベント開催
 - 各イベントでのクリーン活動 他多数

◆ダム湖エリア利用を通して目指すこと

日本で有数の水上アクティビティ体験場所として全国に発信

- 個人だけでなく、地域の学校や企業団体の課外利用促進
- 地域雇用・社会への貢献

→継続して誰もが笑顔でいられる環境づくり

